

VI. 平成29年度自主防災組織の活動計画

1. 自主防災組織活動方針

“自分の命は自分で守る”を基本に、住民の防災意識と防災知識・能力を高める。当面予想される大地震や火災、風の被害を軽減・防止するため、平常時における防災知識の普及・啓発・広報、救急救命講習会や防災訓練、防災資機材の備蓄を進めます。以下のとおり各作業部会の活動を進めていきますので、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

2. ひなん支援部会

- ①赤十字減災セミナーの開催
 - ・災害時における食事の作り方と、暮らしの知恵を紹介する。
- ②災害時のひなん支援希望調査の実施と対応
 - ・例年通り個人調査を行い、ひなん支援希望者リストの更新を行う。
 - ・ひなん支援希望者に対して、日頃から顔の見える関係を作るための取り組みを行う。
 - ・29年度現在の安否確認名簿を作成する。
 - ・「ツクツク見守りたい」の普及を図る。
- ③自力歩行困難者支援訓練
 - ・防災訓練でリヤカーや担架を使って各地区から中央公園等近くの避難場所への移動訓練を行う。
- ④黄色いハチマキ
 - ・黄色いハチマキの取り扱いを徹底し、持っていない人には補充する。

3. 訓練部会

- ①防災訓練の実施
 - ・ひなん支援部会と情報部会との合同訓練とする。
 - ・災害対策用資機材の取扱説明と使用体験の実施。
 - ・避難所運営の訓練を実施。
- ③救急救命講習会の開催
 - ・消防署職員を招いて心肺蘇生法、AED使用方法等の講習会を開催。
- ④救急用品を備品として整備する。

4. 情報部会

- ①自主防災活動の広報
 - ・防災だよりを年4回程度発行して活動報告、催し物案内、防災豆知識等を掲載して広く防災活動の周知を図る。
 - ・防災メールを地震・台風・強風・大雨に際し適時発信し注意喚起を行う。
 - ・桜ニュータウンHPにも訓練の活動報告などを適宜掲載する。
 - ・掲示板に催し物のお知らせの他、防災に関するお役立ち情報の掲示等も行い、掲示板の積極的な活用を図る。
- ②防災メール
 - ・複数の管理者を置くため、民間メーリングリスト(有料)への移行を検討する。
 - ・若手住民の登録数の拡大をはじめ、引き続き防災メールの普及に努める。
 - ・安否確認受信結果を、安否確認班の担当者が確認できるようにシステムを改善する。
- ③防災に関する住民意見交換会の開催。
 - ・全住民を対象にした意見交換会を開催する。
 - ・必要に応じて関連情報に関する講演を内外に依頼する。